

紙製容器包装の分け方



← このマークが目印です。

紙製容器包装の出し方

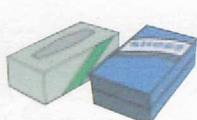
- 汚れているものは、燃やせるごみに出してください。
- 「新聞・広告」「雑誌・古本」「段ボール」「紙パック」は、従来どおり出してください。
- 紙箱は潰して、「雑誌・古本」と同じように紐で十字に縛って出してください。
- 小さなもののは紙マークのある紙袋に入れるか、大きいものの間にはさんで飛散しないように出してください。
- テープ等で止めないでください。せっかく分別してもテープ等が異物となります。
- 菓子箱等には、プラスチックも入っているので分別して出してください。
- 分からぬ物は燃やせるごみへ出してください。

紙製容器包装として出せるもの

紙の識別表示マーク入りのものが対象です。(図は出せるものの例です。)



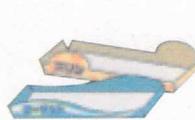
菓子箱などの
空き箱



靴・おもちゃの空き箱
ティッシュの外箱など



歯ブラシを入れた
プリスター・パックの台紙



3個組プリン・
ヨーグルトなどの台紙



デパートなどの
包装紙



わりばしの袋
紙袋

注意 紙のマークがあっても出せないもの(燃やせるごみへ)

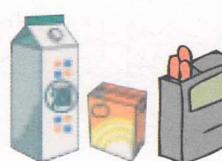
- 汚れているもの(食品残さ、油のついた紙等)
- カップめんの容器とそのふた等(ビニールを多量に含むもの)
- 酒のパック等内側が銀紙になっているもの。タバコの銀紙も同じです。
- 紙筒



汚れているもの



カップめんの容器とふた等



※内側にアルミ箔が張られているもの

酒のパック等・タバコの銀紙



紙筒

※上記のものは、紙マークがあっても対象外とします。



マークのないものは燃やせるごみへ

※現在実施していない地区もありますので、集積所への出し方はお住まいの市町で発行するごみの分別冊子又はカレンダーに従ってください。

プラスチック製容器包装の分け方

「プラスチック製容器包装」とは、商品を買ったときや消費したときに不要になる、「入れてあったもの・包んであったもの」を指します。

対象となるものは、図「識別マーク」が表示してあるものになります。なお、収集の対象となるのは、一般家庭から排出されたものとなり事業系ごみは対象外です。

プラスチック製容器包装の例



化粧品・日用品等の
ケース・パック



カップめん・プリン・ゼリー・
ヨーグルト等のカップ



コンビニ弁当・納豆・豆腐・
マーガリン等の容器



パン・菓子・インスタント食品・
野菜等の袋・あめ等の包み



プラスチック製のフタ
(ペットボトル・スプレー缶・
びん等のキャップ)



洗剤・シャンプー・
リンス・化粧品のボトル



菓子・カップめん・たばこ等の
外装フィルム・生鮮食・
コンビニ弁当等のラップ



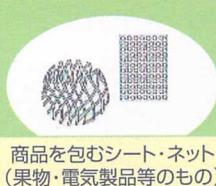
マヨネーズ・ケチャップ・
からし等のチューブ



生鮮食品・寿司・惣菜等の
色つきトレー



レジ袋・衣料品・日用品
詰め替え用洗剤等の袋



商品を包むシート・ネット
(果物・電気製品等のもの)



菓子・吟味・海苔・
カレー等の仕切りトレー



果物・生菓子等の
トレー



みかん・タマネギ等の
ネット



卵のパック・果物・生菓子等の
パック・ハム等のパック

回収の対象にならないプラスチック類の例



- バケツ、洗面器、ハンガー、歯ブラシ、くし、おもちゃ、レジャーシート、プラスチック製食器、タッパー・ウェア、ざる、プランター、ビデオテープ、カセットテープ、ボールペン、CD、フロッピーディスク製品等はプラスチック製容器包装の対象となりません。
- 上記等のもので、指定袋に入るものについては「燃やせるごみ」、入らないものについては「可燃性粗大ごみ」となりますので、これらのものはプラスチック製容器包装には出さないでください。

注意事項 下記のことを守って出してください!

●汚れたままでは出さない

汚れているものはきれいに洗ってから、水をきって出してください。汚れがひどく、洗っても落ちないもの・洗いにくいものは、燃やせるごみに出してください。また、紙のラベル等は、はがしてください。

●必ず専用袋で出す

不適物混入防止のために専用袋以外での回収はいたしません。必ずプラスチック製容器包装専用袋に入れ、集積所に出してください。

●容器包装以外のプラスチック製品は燃やせるごみ

プラスチック製のものでも、容器包装以外（識別マークが付いていないもの・製品等）は燃やせるごみになります。このページの「回収の対象にならないプラスチック類の例」をよく読み、不適物が混入しないようにしてください。

●二重袋では出さない

プラスチック製容器包装をレジ袋等に入れてから専用袋に入れるることは「二重袋」となり、選別・梱包作業に支障をきたしますので、絶対にしないでください。レジ袋等は中に物を入れない状態で専用袋へ入れてください。